

## 事例紹介 順天堂大学医学部附属浦安病院 3号館

さらに進んだ感染&安全対策のある、安心できる医療の場。



患者さんが大便器から離れるとナースコールされる、離座センサーの付いた4F病棟の多機能トイレ。

### 災害拠点病院としての機能を充実させながら、浦安病院全体としての調和をはかり3号館を増築。

順天堂大学医学部附属浦安病院では、従来の1・2号館に続き、2017年5月に地下1階・地上9階建ての3号館を新築しました。「地域の人たちが安心して住むことができる医療環境を提供する」という基本方針に基づき、地域の基幹病院としての機能がさらに充実。2・3Fの外来の機能を拡充させ、今までの待ち時間を短縮させました。4～7Fは病棟フロアとし、196床を新設。これによって病院全体の病床数は785床になりました。また、8Fのワンフロアを医局として、今まで分散していた機能を集約しています。

新しい建物は、東日本大震災の時に液状化が激しかったエリアであることも考慮。大きな災害時にも災害拠点病院としての機能を発揮できるように、柱の上部に免震装置を設置した柱頭免震構造を採用しています。災害対策としては、3日分の食糧備蓄、自家発電、さらに電気・水道・ガスのインフラを2系統にするなどの対策を講じています。また、外来の共用スペースをできるだけ広くしてトリアージを想定しています。

1～3号館全体のバランスも考慮し、外観は既存棟のレンガ調マイルとバルコニーによる基本デザインを踏襲しつつ、現代に合わせた新しいイメージを作るため、ルーバーを取り入れました。また、感染対策をはじめとする諸対策においては、文京区本郷の順天堂大学医学部附属順天堂医院(本院)で検証したものをブラッシュアップして、浦安病院に合わせて取り入れています。

今後は1・2号館の改修も進め、さらに病院トータルで機能を向上させていく予定となっています。



離座センサーの付いた多機能トイレ。左に見えるのがON/OFFのできるスイッチ。



3号館の外観。レンガとルーバーが特徴的である。

### 順天堂大学医学部附属浦安病院 3号館

- 竣工年月 / 2017年5月
- 所在地 / 千葉県浦安市富岡2-1-1
- 施工 / 学校法人順天堂
- 基本設計・監修 / 株式会社日本設計
- 設計・施工 / 清水建設株式会社
- 延床面積 / 16,193.03m<sup>2</sup>
- 定員 / 196床



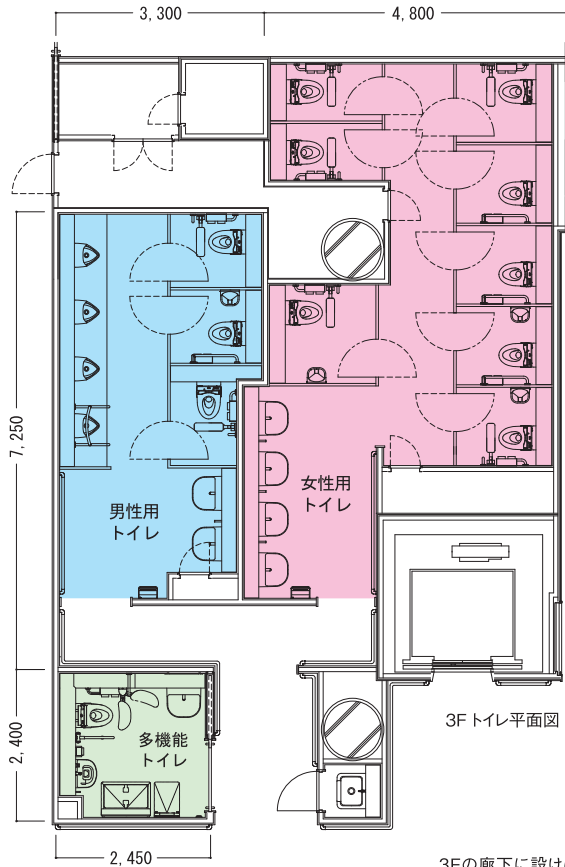
天井のルーバーが印象的な1Fの受付・待合ロビー。



4Fスタッフステーション奥にはスタッフ用トイレも。



4Fのデイルームには、車いすでも使いやすい洗面カウンターが設置されている。



3F トイレ平面図

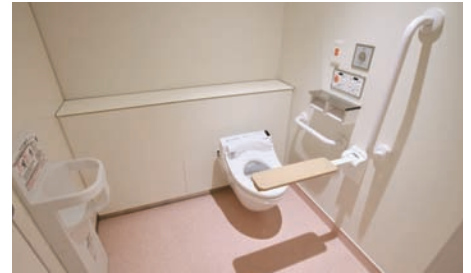
3Fの廊下に設けられたスタッフ用手洗器。平場を作らない清潔仕様である。



3Fに設けられた各トイレのサイン。



3F女性用トイレの手洗器。床の色には明るいピンクを採用している。



女性用トイレのブース。便器は清掃のしやすい壁掛けタイプである。



3F男性用トイレの小便器も壁掛けタイプ。防汚防臭陶板を採用している。



スイングタイプの前板ボードなどが備えられた3Fの多機能トイレ。入口では音声ガイドで誘導している。



左の写真の多機能トイレには、おむつ交換台やフィッティングボードなども設けられている。

## 管財課の方からの声

### 最新情報を取り入れて多くの設備を導入。低突起の点字ブロックは、安全対策に有効です。



総務課 管財課  
医療安全管理室  
課長  
唐島孝彰さん



管財課  
課長補佐  
斉藤健司さん

看護部から、個室に8角形のトイレ・シャワーユニットを導入したいという要望がありました。介助する際に大便器が斜めの位置に付いていると介助しやすいことがいちばんの理由でした。また、トイレの離座センサーの良い製品が出たという情報を入手し、ぜひ導入しようと、すでに壁工事が始まっていたタイミングで急遽取り付けすることにしました。内装デザインは、設計の清水建設に何度もパースを描いていただくなど、イメージを共有

しました。また、別棟にモデルルームを作って実際の検証も行いました。工事を始めてからも現場で柔軟に対応し、調整を行いました。安全面では感染対策とともに患者の転倒対策を施し、前方ボードを採用しています。階段前にある低突起の点字ブロックは、癒しのトイレ研究会のパンフレットを見て導入を決めました。屋内ではJIS規格だと逆につまずく原因にもなりますので、低突起の方が良いと感じます。

## スイングタイプの前方ボードを標準的に導入。 トイレの床は高齢者にも分かりやすく色分け。

トイレブースには、スイングタイプの前方ボードを採用。これによって患者さんに負担をかけることなく、斜めの動線から着座・離座の動作を行うことができます。また、患者さんのプライバシーに配慮して介助者がトイレから離れる時にも、前のめりに転倒する危険を減らすので、安心であるとのこと。立ち上がりに力が必要な患者さんのサポートにもなり、患者さんと介助するスタッフの大きな助けとなる設備。元々2号館で跳ね上げタイプの前方ボードを使っていたので、3号館ではさらに向上したスイングタイプを標準的に導入しています。

病院の床については「床はホコリが目立つ場所。患者さんやご家族もよく見ている部分で、床がきれいだと『この病院はピカピカですね』と仰っていただけるなど、清潔さのポイントになります。巻き上げなどによって、ホコリが溜まらない工夫はいいですね(看護師長・長谷川貴子さん)。

なお、トイレの床は男性用をブルー、女性用をピンク、多機能トイレをグリーンと色分けしているため、高齢者でも分かりやすいのが特徴です。

空調は個別パッケージで、部屋ごとに調整することが可能。風などの問題もなく、一人ひとりの患者さんに対して適温を設定できます。



4Fの泌尿器科の病棟に設けられた、尿流量測定装置の付いた多機能トイレ。



スタッフ用の通路からも入れる、3Fの検査室。



3Fの皮膚科にはフットケアの設備も用意されている。

## 設計担当の方からの声

### コリドーが全館を貫く特徴的な構成です。



清水建設株式会社  
設計本部  
医療福祉施設設計部  
根ヶ山愛子さん

日本設計さんの基本設計のもとで、実施設計をさせていただきました。1Fの受付・待合と2・3Fの外來は、ホスピタルコリドーと呼ばれるメイン動線によって、1号館・2号館とつながっています。3つの建物を貫く全長200mのコリドーは、患者さんにとっては分かりやすい構成で、病院の大きな特徴となっています。エントランスホールの内装は、光が映り込むアルミのルーバー天井にして、明るく開放的で、人を柔らかく受け容れるデザインにしました。エントランスまでのアプローチも緑が感じられるよう計画し、病院の内も外も自然で温かみのある空間となっています。

病院担当者様とは何度も打ち合わせを重ね、家具の形状やスイッチの高さなど細かな部分まで要望を拾い上げ、施工に反映させました。現場と協力して解決策を考え、早急に対応することで、ご要望を実現していきま



階段の手前に設けられた、屋内用の低突起の点字ブロックである「UDフロアシステム」。



廊下に設けられた2連の洗面カウンター。車いすでもカウンターの下に足が入り使いやすい。



8角形のトイレ・シャワーユニットを導入している個室。部屋の中央には使いやすい洗面カウンターも用意されている。

## 院内の場所が分かりやすく 誰でも親しみやすいサイン計画。

サイン計画は、色分けやシンボルとなるイラスト、さらにはアルファベットによってゾーニングを分かりやすく表現。さくら(ピンク)、ひまわり(イエロー)、みどり(グリーン)、うみ(ブルー)、すみれ(紫)、つくし(茶色)というように、モチーフと色が連動することによって、明快さと親しみやすさを兼ね備えています。



サインは色とモチーフではっきりと区別され、エレベーターにも「うみのエレベーター」「つくしのエレベーター」などの名前が付けられている。



4F病棟の角部屋の個室は、トイレとシャワーが分かれている。車いすで便器の近くまでアプローチできて介助しやすい。

### 4F 病棟の看護師長さんからの声

#### 尿流量測定装置は、感染対策上も有効です。



看護師長  
(外科・泌尿器科など)  
中瀬麻子さん

トイレは手すりやナースコールの位置まで丁寧に工夫されています。また、尿流量測定装置の付いたトイレがあり、採尿コップを使わずにデジタルでデータが見られるのは、感染対策の面でもいいですし、助かっています。離座センサーは最初から便座に組み込まれていて後付けではないから清潔で、使い勝手がよいと感じます。とても重宝していますし、患者さんの転倒・転落のリスクを減らすためには、もっと数多く導入できたらいいですね。

### 7F 病棟の看護師長さんからの声

#### スタッフ用手洗器は衛生的でスタイリッシュ。



看護師長  
(内科など)  
長谷川貴子さん

病棟のトイレは、車いす専用のトイレではない男性用・女性用のトイレでも通路が広く、車いすでも使うことができます。トイレブースも、点滴スタンドが入る広さを確保しています。また、手洗器は車いすで利用する時に、下に足が入るので使いやすくなっていますね。スタッフ用の手洗器は水はねが少なく、モノを置けない仕様であるため衛生的で、掃除もしやすいです。また、見た目もスタイリッシュできれいだと感じます。